

令和元年第7回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 令和元年7月23日 午後1時30分
- 2 閉会 令和元年7月23日 午後3時30分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、太田孝雄教育長職務代理者、山本明子委員
金田真也委員 天野千栄子委員
- 4 会議に出席した職員
教育部長 宮川裕之
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課長 渡邊宏光
生涯学習課長 森下 錬
スポーツ課長 粕谷幸充
文化財課長 増山禎之
中央図書館長 是住久美子
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第7回定例会議事日程

日 時 令和元年7月23日(火)

午後1時30分

場 所 北庁舎2階 200会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議題

- (1) 令和2年度使用小・中学校用教科用図書採択について
- (2) 田原市博物館協議会委員の任命について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 小中学校への寄附について

5 その他

教育長

開 会 午後 1 時30分

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。定足数に達していますので、令和元年田原市教育委員会第7回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、太田委員と山本委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは議題に先立ち、教育長報告をさせていただきます。

6月21日、前回の第6回の定例会と同日に校長会もありました。

6月24日、午前中は学校訪問で東部中学校。午後は発明クラブ企画運営委員会。発明クラブは生涯学習課の管轄で行っております。トヨタやアイシン等企業の方にも入っていただいて、企画運営委員会を行いました。それから、ずっと渡辺機開の社長さんに副会長を務めていただいております。

6月25日、議会最終日。

6月26日、高松小学校への指導訪問。昨年度、近藤寿市郎さんが豊川用水開通50周年というところで、劇もやって非常に盛り上がりがあって、今回もその流れをくみながら、先生、子どもも一生懸命やっていたなという感じを持ちました。

6月28日、神戸小学校への指導訪問。研究発表校ということで、秋の発表に控えて要請訪問という形で行いました。若干研究が遅れ気味かなという部分がありまして、いろいろな面ではっきりテーマに沿った部分を出すようにというような指導を中心に行ってきました。夏休みに向けての方向転換、必要事項等もお願いをしてきました。

7月1日、大草小学校への指導訪問。小規模校のよさを十分發揮して、先生、子ども、非常に動きのいい、こちらから見ていても、さわやかな気持ちにさせていただきました。先生たちの仲の良さが単なる和気あいあいだけではなく、厳しさもあり、非常に前向きな学校運営の取組みがあって、校長先生の手腕の高さを感じました。また、先生たちの一人一人の持ち味を生かす教育活動の展開がされていて、私たちも行って誇らしく思いました。

なお、大草小学校は、夏休みの後半に行われる東三河芸能フェスティバルで相撲体操、相撲甚句をやられるということで、相撲協会のご指導をいただいたりしながら、今回、こういう伝統的なものがやれるというので、ぜひ楽しみにしています。学芸会も含めて広く伝えてほ

しいというようなお願いもしました。

7月3日、糟谷磯丸顕彰会総会。午後から青少年問題協議会と子ども・若者支援地域協議会代表者会。

7月5日、皆さんにもご参加いただきました豊橋市での市町村教育委員会連合会の総会・研修会。

7月6日、消防団の操法大会の激励会。20日に大会があり、よく頑張ってくれて、県で5位でした。

6日は、伊良湖海水浴場の海開きもありました。

このときから中学校の総合体育大会が始まりました。また中学生の頑張りがぶりについては報告があるかなと思います。

7月9日、太田委員とともに教育資料検討会に参加しました。また後のほうで議決をいただきます。

7月11日、夏の交通安全県民運動が始まった日なのですが、神戸町で事件が起こりまして、小中学校等を臨時休校という形にせざるを得なかったかなと思います。詳しくは、また部長から報告があります。

7月17日、太田委員とともに東三河小中高特連携教育推進会議に参加しました。小中高特ですので、高校の校長が2名、特別支援学校の校長が1名、東三河教育事務所の関係者を含めて、教育長、それから学校側一部というような出席者でした。今回は教育を超えて、もう少し企業の人たちも含めたキャリア教育について、今年が3年目でひとつ区切りの年だそうですが、来年以降もやっていくためにはこの会議のまとめをしながら予算要望をしていきたいということで、活発な意見が出ておりました。皆さん、東三河の子は東三河で育てるという熱い思いの意見交換がありました。

同日午後、社会教育審議会が行われました。

7月18日、文化財保護審議会。

両審議会とも委員さん方からの予算要望について、難しい部分もありますが、事務局には、ぜひ意見反映を何とか試みていただきたいと思います。

7月19日、三遠南信教育サミットが長野県松川町で開催されました。皆さんご参加ありがとうございました。

7月20日、小学校水泳大会があり、子供たちは一生懸命泳いで、これも天候が心配されたのですが、何とか無事できてよかったかなというふうに思います。

7月22日、臨時の校長会がありました。こちらについては、いろいろ伝達事項があったものですから、その確認をしながら伝えました。

本日、教育委員会定例会。

7月26日、東三河教育長会が豊川市で行われます。

7月30日、三河部都市教育長会。こちらもまた豊川市の音羽庁舎で行われます。

8月1日、県・市町村教育長の意見交換会。代表教育長のほうから県の教育長に、県への要望等を行いました。例えば35人学級をもっと進めてほしいとか、教員数の増をお願いしたいとか、それから施設についてのことなど、特に、私は校長の裁量権をもう少し拡大してほしいということをお願いする分担がありまして、そんなことで役割も果たしてきたなというふうに思います。

以上、教育長からの報告事項としますけれども、何かご質問等ありますでしょうか。

はい。では、以上で教育長報告を終わりにしたいと思います。

教育長

では、これより議題に入ります。

初めに、議案第28号「令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。

議案第28号の「令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択について」の審議についてでございますが、東三河教科用図書採択地区協議会による審議が非公開とされていますので、本市教育委員会においてもこの協議会に準じて秘密会とすることを提案いたします。

また、8月末日まで開示しないことも合わせて提案いたしますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議ないようですので、議案第28号「令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択についての審議について」、この教育委員会を秘密会議といたします。

市民から会議録の公開請求がありましても、この部分については8月末日まで非公開文書扱いといたしますので、よろしく願いいたします。

それでは、本件に関する事務局以外の者の退席を求めます。

では、退席をお願いします。

(関係事務局以外の者 退席)

教育長

では、改めて、議案第28号を議題といたします。

(以下、議事を非公開)

(退席者 入室)

教育長

事務局の職員には大変お待たせをいたしました。

会議を再開いたします。

議案第29号「田原市博物館協議会委員の任命について」を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

文化財課長

議案第29号、田原市博物館協議会委員の任命でございます。令和元年7月23日提出、教育長名でございます。

提案理由につきましては、田原市博物館協議会委員が任期満了となるため、新たに協議会委員の任命をするものです。

それでは、次ページをお願いいたします。

こちらのほうに候補者の名簿が書いてございます。上から紹介いたします。

横田克彦さん、再任でございます。もともとは田原市博物館友の会の会長をやられておりました。

次に、山本達夫さん。職としては文化協会の会長をやられております。再任でございます。

次に、村田眞宏さん。現在、豊田市の美術館の館長をやっておられます。それまでは愛知県立美術館の副館長をやっておられました。再任でございます。

続きまして、立岩憲一さん。福江高校の教員となっております。新任でございます。毎回、高校の代表ということで、任期ごと、前は渥美農高、今度は福江という形で、順番をお願いしているところでございます。

続きましては、杉本説子さん。田原中部小学校の校長です。こちらでも再任となっております。小学校長の校長会の代表という形でお願いしているところでございます。

続きましては、太田文子さん。もともと保育士さんで、家庭教育、児童教育という観点で意見をもらうためにお願いしているところでございます。

以上、任期は令和元年7月30日から令和3年7月29日までとなっております。

以上です。よろしく願いいたします。

教育長

事務局からの説明が終わりました。ご質問等ございますでしょうか。

山本委員

すみません。今まで何回もこの議案で確認しているのですが、博物館協議会委員について、協議会というのは何回ぐらいあって、どんなことを協議するのでしょうか。

文化財課長

年間2回から3回、開催しております。

主に博物館の運営、特に展覧会ですとか、その活用の面に関するアドバイス等をお願いしているところでございます。

そして、特にそれを予算にうまく反映するような形で、予算期の前になるべく会議等を行えるような形で調整をしております。

山本委員

ありがとうございます。

教育長

よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

では、お諮りをいたします。

議案第29号「田原市博物館協議会委員の任命について」、原案どおり

可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

ご異議がないようですので、議案第29号につきましては原案どおり可決されました。

教育長

では、続いて報告事項に入りたいと思います。
各教育委員の皆様方の連絡、報告事項を順次お願いしたいと思いま
す。

太田委員

では、太田委員からお願いいたします。
お願いします。

7月は何回か、会議等へ出させていただきました。7月5日、皆さんと県の教育委員会連合会の総会・研修会に行かせていただきました。総会の中で、豊橋市長、県の教育長、新旧の会長のご挨拶がありまして、子どもや学校へ対する思いの深さだとか、教育の重大さだとかをお話の中から痛感いたしました。

研修会の中の、藤田医科大学、石原先生のアレルギーに関するお話につきましては大変人命にかかわる大切なことで、特に保護者、医療機関との連携の必要性だとかというものを述べられまして、以前はなかったようなことが、やはり教育現場でまた新たに求められてきたということで、特に人命にかかわることですので、学校、先生方の役割がまた大きくなってきているなということを思いました。とてもいいお話でしたので、ぜひ現場の先生方にも聞いていただく機会が持てればいいかなというふうに思いました。

7月17日に東三の小中高特連携教育推進協議会に出させていただきました。皆さま方、東三河の各市町、東三河全体の振興、特に人口減等、それぞれ問題を抱えているわけですけれども、東三河の振興に教育が大きな意味を持っているということで、今までそんなような視点で物事をあまり考えたことがなかったのですけれども、やはり教育の大きな意義だというふうに思いますので、いろいろな方々のご意見を聞いて、思いの深さというものを感しました。

その中で、これで3年間が終わりまして、また新たな形で第2期が来年から始まるそうですけれども、前に金田委員も多分お話されたと思うのですが、夏休みに愛知大学でキャリアフレッシュセミナーというのが行われて、中学校1年生の生徒、保護者を対象とした東三河の高校の学科の紹介というようなことがあるそうで、機会があればこういうところにも出向いていきたいなということを感じました。このキャリアフレッシュセミナーを来年度以降どういう形で継続・発展させていくかということに、この会の議論が多かったものですから、ぜひ一度見ていきたいなということを感じました。

また、田原市の連携教育について発表させていただきました。田原

市も4つの事業をこれに関連してやっているものですから、そのようなことを発表させていただきました。

7月19日に先ほどありました三遠南信教育サミットに行かせていただきました。この会議も、どうしてこういう会が、今回24回目で、24年間もよく続いているなというふうに思いましたが、会の中で、会長や、講師の先生方が、この三遠南信の歴史、経済、文化等でのつながりについてお話がありまして、なるほどなというふうに思いました。その三遠南信でも外れのほうにある、我々にとってみるとあまり強くつながりというものを実感しないわけですが、東三のときも感じましたけれども、やはりこの三遠南信の振興という意味で考えると、道路の建設があったり、それから同じように人口減を抱えているところですので、こういうところがスクラムを組んで情報交換等することは、やはり意義があるかなというふうに思いました。

来年田原で開催されるものですから、閉会行事や交流会で、教育長が、すごくPRを上手にされて、皆さん方、来年多分たくさんの方が見えるのではないかなと思いますので、また事務局の方、来年に向けて、田原市のPRという意味ではすごくいい機会だと思いますので、ぜひ、教育関係の方々を中心にになりますけれども、いい会議にしていただければなというふうに思いました。

7月20日、水泳大会がありまして、私は今回中部小学校のほうへ行きました。ちょうど天候的には、雨が上がって熱中症の心配はそうなかったのですけれども、数回休憩をとったり、そのときに子どもたちを入水させたり、水をまいたり、いろいろな配慮がされていて、特に問題はなかったのではないかなと思います。保護者の方が大変多く見に来ていただいているなと思ったのですが、保護者の見る場所が狭くて、プールは普段周りから見えないように囲ってあったり、場所的にも隅のほうにあって見れないようになっているのですが、なるべく保護者の方にも見てもらえるようなことも少し考えていけるといいかなというふうに思いました。

水泳大会で数年前から飛び込みがなくなったり、それから、ちょっと見えていても、小学生、一生懸命はやっているのですが、以前に比べると各小学校の部活動に対する取組みが少し弱くなってきているのではないかなという。もちろん、子どもの体調面だとか健康面だとか安全面に配慮することは大切なのですが、この小学校の部活動については、近隣の市でもやめる方向だということも報道されてきておりますけれども、少し、小学校の部活のあり方についても、現場の先生の意見も聞きながら、これからどのように取り組んでいくかということについて、考えていく時期ではないかなということ、大会を見ながら考えました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

では、山本委員お願いします。

山本委員

私は6月24日、学校訪問は欠席させていただき、非常に申し訳ありませんでした。

7月5日の県の教育委員会連合会総会。こちらのときに、藤田医科大学の先生の、エピペンの話だったのですけれども、私は関係者なので、エピペンのことは使い方も知っていたのですが、すごく具体的に動画でみせていただいて、お医者さんの勉強会へ私は行ったのですが、あそこまで具体的にやらなかったです。とてもわかりやすい話だったので、やはり現場の先生が知っているといいかなと思いました。

私も、保健室へ行くときには、必ずエピペンのことは聞くようにしています。本当に死につながるの、その怖さを本当に新たに知りました。

7月19日の三遠南信教育サミットですけれども、私は感動したところだけかいつまんで言うと、伊坪先生の講演で、昔の納品書だったり、それから誰々が何人乗ったというような、天竜川を下るところの、要所、関所とかでの物や人の動きを、残っている資料を徹底的に調べて、どのぐらいのものが天竜川の上流、長野県のほうからずっと、どこまで行ったかというのが全部わかるようなもので、例えば、柿なんかはもうほとんど、川の上流の人たちが食べるのではなくて、浜松や、多分三河に運ばれてきていただとか、お米なんかも来ている。そういう意味で言うと、その昔から交流があったのに、こういう私たちの教育の現場でも三遠南信、こうやって交流することによって、子どもが5人しかいない地区でも、こんなに元気よく子どもたちが学校に通っているのを見たり、そういう教育委員会の方たちの話を聞いてすごく楽しかったので、25回、来年は田原ですけれども、ずっと続けてほしいなと思います。よく25回続いたと思いますけれども。

教育長

皆さん、やはり好意が集まっているので続いているのかなと。また来て、やはり最初は遠いなと思っても、行くことによって得るものがあるなということですね。

山本委員

みんなそんな思いで帰っていったと思います。ありがとうございました。

7月20日の小学校水泳大会も、やはりこれもおもしろくて、私なりにおもしろかったのは、泉小学校とか伊良湖小学校の子が結構いい成績をとっていました。

最近は部活ではなくて、部活をやるよりも塾へ行っていると思うんですね。さっきも太田先生が言ってみえたけれども、部活と塾とのすみ分けというのがこれからすごく大事になってくると思います。

私が知っている人はダンスだとか、音楽とか、そういうものが多く

て、私は、基本はやはり水泳とか体を鍛えるほうだと思うのです。そういう基本的なものは水泳だけではないですけども、体を鍛えるというのを、何とか違う形になろうとも、部活がどうなるかわからないですけども、やらせないといけないなということを思って、これも続けてほしいけれども、水泳はやはり何かの形で続けてほしいと思いますね

教育長

はい。ありがとうございました。

例えば、中部小学校で行くと、お稽古事がやれるところがあるかなと。地域によってはあまりないので、泉や伊良湖岬のように水泳で頑張らせて賞状をもらえば、それはそれで意味があるので。ちょっとそういうふうで、確かに伊良湖岬や泉の、旧渥美町は頑張るのでいいけれども、リレーで行くと、そうやってみんな取っていったので、旧田原町の子たちが、もう少しスイミングも行ければ行けるんだけど。

山本委員

スイミングよりも、何か違うようですけどもね。

教育長

違うところへ行っているんですかね。

山本委員

プログラミングが今はすごい流行りなんですって。特に、東京はすごくて、1位がプログラミングだそうです。

教育長

という意味で、やはり都会の実情と、まあ、田舎の実情もあるので、小学校の部活動については、蒲郡市や豊橋市はこれで小学校はやめていくという方向を打ち出したのですけれども、豊川はいろいろな面で、朝練も中学校でやっていますし、ほぼ変わっていない。田原はある意味、周りを見る中也含めて、まだ部活動については、校長会でもガイドラインを含めて検討を。

学校教育課長

8月の校長会のときには、1つ目のたたき台が提案できるかなというのが、そこまでの経過となります。

教育長

教育委員会としては、さっき言った豊橋市とか蒲郡市のように、もうやらないよと言わずに、各学校の、今は意見集約を含める中で、部活動については、まずはやっていく現場の声を聞き、難しい部分であればまた考えていくし、やれるものであればやるとか、地域の実情に合ったやり方を考えていくのが、今のところいいのではないかなというところで、慌てずしっかり聞く中で進めていけたらなというふうです。またご意見をいただきたいなと思います。

では、続いて金田委員さん、お願いします。

金田委員

7月5日に、教育委員会連合会総会に出席してきました。

4つ、いいなと思ったところがあって、1つ目は愛知県教育長の方針が聞けたということで、県の教育の方針が聞けてよかったなということ。

2点目は、講話、食物アレルギーの話が聞けて、講師の方が説明を上手にしていたのを聞いて、ああ、こうやって話せば上手に伝わるのかというのが勉強になりました。

3点目と4点目は、次に出てくる三遠南信教育サミットにも言えることなのですからけれども、3年目がもうすぐ終わろうとしているのですけれども、いろいろな、他の教育委員の方と知り合いができて、話ができるようになった。覚えてもらえたということが嬉しかったです。

また、そういった人と話をしていると、いろいろな考えを持っているんだなということを感じさせてもらったというのが4点目です。

アレルギーに関しては、自分の子どもに1人アレルギーの子がいて、甲殻類のアレルギーで、ちょっと大きくなってきたので家の手伝いに肥料を振っておいてと言って、肥料を振らせたら、アレルギーが出たので、どうしたのかと思ってその肥料を見たらカニが入っていて、食べるだけではなくて、そういったものでも出るというのを聞いたときに、先生もいろいろな配慮をしなければならない時代になったんだなというのを改めて感じさせてもらった会でした。

7月18日は、田原市要保護児童対策地域協議会に出席してきました。年1回ある代表者会議なのですからけれども、関係機関及び連携によって、児童虐待や要保護児童の早期発見と適切な支援・保護を図る目的でこういった会議をやっているそうです。

出て感じたことは、月に1回行われている実務者会議で実際に使用されている児童相談受付台帳、31例あったのですけれども、それを見て、本当にいろいろなケースがあるんだなということを感じさせていただきました。

その中で、スクールソーシャルワーカーという方がいると言っていたのですけれども、そういった人の存在がとても大きくて、学校と家庭と子育て支援課。この目的である「連携」ということに大きく役に立っているのだなといったことを感じて帰りました。

7月19日、教育サミットに出席して、皆さま方以外のことで言わせてもらおうと、東栄町の教育長がお話された話なのですからけれども、そこは本当に、十何年前は人口1万1,000人いたのが、今は3,200人。それで65歳以上の方が半分近くになってしまって、小中学校は十何校あったのが、今では小中学校1校ずつになってしまった。そんな話を聞いて、大変だったんだろうなということを感じさせていただきました。

またその後、懇親会の中で、豊根村の教育委員さんと話をしたときに、今まで全寮制だった中学校が、来年の春からそれがなくなって、スクールバスで通うようになったというのと、あと袋井市の教育委員さんだったかな。その人は、そこの校区がたくさんになったので学校を増築しなければならない。だけど増築する予算をとるのだったら、そこの地域の人をよその空いている校区に、移動させる。増築をせずに、ほかの学校に編入させたという、そういったことをやると。もめなかったかと聞いたら、とてももめたと言っていました。

ただ、まあ、そういった部分では増築の予算は削減できたというこ

教育長

天野委員

とを言って、いろいろな策を練っているんだなというのを感じさせていただきました。

7月20日、水泳大会、僕は衣笠小へ行きました。やはり運動会は暑かった。それで水泳大会は、もしかしたら寒いかもしれないという、そういった先生の配慮というのは、そこら辺でもまたこの異常気象というのも影響しているのだなというのを感じさせていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

では、天野委員お願いいたします。

7月5日、私も、教育委員会連合会の総会・研修会に初めて出席させていただいたのですけれども、やはり皆さん同様、藤田医科大学の先生のお話がすごく勉強になりました。食物アレルギーというのが先進国の国民病というか、先進国ならではのものだよということで、発展途上国は普段からいろいろな菌にさらされているので、まず今のところないということで、そうなんだなということをやほり思いました。

あと、その会が教育関係の研修会なので、学校給食の場ですとか、学校行事ですとか、部活動でのアレルギーが起こったときの対応などを教えてくださいました。愛知教育大学との医教連携という言葉聞きまして、確かに、一番子どもさんが命の危険が出ることがアレルギーだと思うので、いい取り組みだなと思いました。

実際の、本当にじんましんが出られている映像とか、あと、せき込みの音声などがありまして、苦しそうだなと思ったので、とても勉強になる会に出させてさせていただきました。

19日が三遠南信の教育サミットに参加させていただきました。インターチェンジを下りたところから街路樹がリンゴだったのが、リンゴの町に来たんだなと感じました。会自体、来年はこちらがお迎える側なのですけれども、本当に松川町の皆さんが、こんなにおもてなしというか歓迎してくださっているのだなということが伝わってまいりました。会の前の太鼓の演奏ですとか、あと子どもたちの合唱ですとか、音で自分たちが動いていると、とても一体感があって、いい機会だなと思いました。

懇親会のテーブルは、浜松と新城と天龍村の教育長、あと袋井や豊根や、長野のあちらの教育委員さんと同じで、皆さんやはり口々に来年楽しみにしていますとおっしゃってまして、ぜひ、いろんな形でおもてなしをお手伝いできたらなと思って、楽しく帰ってまいりました。

次の日が水泳大会だったのですけれども、私も衣笠小学校のほうに参加させていただきました。ギャラリーがとても多くて、1つ、脚立が立っていたのがすごいなと思って、実際に乗られていたのは見ていなかったの、多分自分の子どもさんのときは脚立に上って撮影か何

かをされたのかなという工夫をされていたのがありました。あと、私たちの席のすぐ後ろに校長先生たちがずらっと並ばれていて、本当に熱い声援を送っていらっしゃる校長先生たちがお見えになって、本当に自分たちの子どもさんたちをかわいがっていらっしゃるんだなということ、すごく微笑ましく楽しく見せていただきました。

あと、少し気になったのが、結果発表がそれぞれのレースであるのですけれども、その中で順位がつかない泳法違反というのがありまして、何コースの誰々さんは泳法違反ですよということで、そんなのがあるのだなというふうなことを感じたのですけれども、その都度、校長先生ですとかに聞いてみますと、平泳ぎのカエル足ができていないですとか、ずっと先生もついて見ていらっしゃると思いますので、泳法違反で失格ということになるのは、ちょっと心苦しいものがあったのですけれども、平等という意味では一定のルールでやらなくてはいけないということで、平泳ぎと背泳ぎが結構その泳法違反というのが1レースで二、三人出たときもあって、そうなんだなと思いました。

今月は皆さんと一緒に行動することが多くて、とても楽しい活動をさせていただきました。ありがとうございました。

以上です。

ありがとうございました。

水泳大会、中部と衣笠の会場では、中部はゴールが席から反対側なもので、なかなか最後は声が出しにくいとか、さらに後ろの保護者の方は、非常に見にくいというんですか。

そうですね。校長先生方も静かでしたね。

また、来年中部へ行っていただいて、見ていただけたらと思います。衣笠はすぐそこを泳いでいるので、声をかけやすいかなというところでもあります。

それから、アレルギーについて、実は田原市の給食センターはアレルギー品目が今27品目指定されていて、それを全て対応できるというのは、おそらく愛知県内では他にないのではないかな。ですので、県一の配慮をした給食をやれているという。

実際そういうところで、それから対応についても養護教諭の先生たちもエピペンについていろいろ把握する中でできます。

そんなところで、いろいろ配慮しながらやっているというところもご理解いただきながら、ちょっと誇ってもいいかなと思います。

三遠南信なんかへ行くと、結構市町の実情は厳しいので、小さい村々なり山間部の実情を聞くと、田原の少子化は進みつつあるんだけど、またやはり問題の深さが違うかなということで、そういうことも勉強になりますので、少ない人数でもけなげに頑張っているところを聞くにつけ、統廃合についても今ある形をまた研究していけばいいかなというところでもあります。

教育長

太田委員
教育長

教育総務課長

来年、25周年の三遠南信教育サミット、教育総務課だけではなくて他の課も動員して、またいろいろアイデアを出していただいて、田原へ来たことの影響づけ。みなさんに、来て、楽しんでもらえればいいかなと思いますので、来年開催地ですので、よろしくお願いします。

報告が少し長くなりましたが、詳しく言ってもらえまして、ありがとうございました。

では、次へ参りたいと思います。

報告事項（2）小中学校への寄附について、事務局報告をお願いいたします。

教育総務課からお願いします。

平成31年度教育関係小中学校寄附一覧をご覧ください。

令和元年7月23日現在での一覧表でございます、この今回の報告は4番目でございます。

6月18日付で、株式会社河合組さんから、野田小学校に対しまして学校の教育活動の支援充実ということで電動スクリーン1台の寄附をいただいております。

実際にはまだ発注の最中ですので納品いたしておりませんが、2学期を目処にそのスクリーンが体育館につけられて、研究発表等に広く活用できるといったものとなりますので、ご報告させていただきます。

寄附については以上です。

教育長

寄附の報告がありました。皆さん、何かご質問ありますか。

では、ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

続いて、その他のほう、事務局、何かございますか。

教育部長

すみません。お願いします。

教育長

はい。

教育部長

冒頭に教育長からありました、7月11日の神戸町で発生した事件のことについて、教育部の対応を中心にお話させていただきたいと思えます。

まず、事件の最初ですけれども、7月11日の早朝3時55分に119番通報がございました。総務課から、6時過ぎぐらいに連絡がありまして、まず第一報、放送が流れたのが6時20分、田原警察署から犯人逃走による注意を呼びかける放送が入りました。

続いて6時半ごろには交通安全の街頭指導は中止しますという放送が流れました。

その後、教育長、学校教育課長で検討しながら、児童生徒の自宅待機ということで、まずは決定しまして、放送を入れました。その後、休校という流れになっています。

その後、7時30分になるのですけれども、保育園、子ども園、こちらのほうも自宅待機とするということで放送を入れました。その間も

ずっと給食の関係、どうするかというようなことを決めて、その都度学校を通じて連絡を入れております。

最終的に正午過ぎには仙台市内で確保されたということ、16時には身柄を確保した旨の放送が入ったということでした。

今回こういった、めったにない事件なのですけれども、改めて連絡体制であるとか、連携体制について検証をしていこう、自分たちの対応を整理していこうというような取組みをやっております。昨日も市、庁内の関係部署が集まりまして、どんな対応をしたというようなことの話し合いを行いました。

今回の中で、特に気になったところといいますと、まず、高等学校というのは、市の機関ではないですので、こういった形で連絡をして連携を取っていこうというところがあります。

それと、関係部署との連絡の中では、警察からの情報が、包丁を持って逃げたと。それしか情報がないものですから、市外に行ったのか市内に行ったのか、わからない状態での検討でした。けれども、マスコミのほうでは車で逃げたとか、そういったことがあって、そういった情報がなかなか入ってこないというところで、マスコミの情報をそのまま私たちが鵜呑みというか、対応していいものかどうかといったところも、ひとつ難しい部分がありました。また、交通安全街頭指導が中止、その後に小中学校の自宅待機、保育園、子ども園という順番で言うと、もしも小中学校が登校を始めていたら、交通安全の街頭指導の人たちが立っていてくれると、通学の安全確保などもうまくというか、少しは安全確保ができるかなというところで、そういった面も含めて全体的な連携、連絡体制が必要ではないかと。

保育園、子ども園の連絡が遅れたということで、市民の方から何件か電話が入りました。ただ、保育園、子ども園については民間の保育園があり、市だけでは決められないということで、そういったところとの連絡が遅れたという部分があります。

そんなところで、今回は犯人が当日に確保されたのですけれども、これが長期間にわたった場合、何をタイミングで学校再開をするんだろうとか。もしもそうなったときの通学時の見守り、安全確保について、地域の方に協力は願えるのかなとか、まだ検証・検討していかなければならない事項があります。

ただ、今回ずっと通してみても、基本的に子どもたちの安全の確保をどうするか。そういったことで動いてきたというようなところです。

私からの説明・報告は以上とさせていただきます。

刃物を持って逃走したというだけで、所在が分からなかったのも、最終的には刃物は家にあったようですけれども、その辺はとにかくどっちに向かうか、まあ東だろうだけれども、だろうでは、伊良湖に向かっているときに、もし伊良湖岬小のスクールバスになにかあったら。

教育長

中央図書館長

そんなふうで大体、とにかく様子を見るしかないなど。

そうすると、マスコミ等は、ただいま仙台で確保しましたとか、ラジオが出たりネットが出たりということで、警察が一番後に来るので、市民の方は先に情報を得ているということもありました。

いろいろ波紋は大きいなというところでした。

はい、ありがとうございました。

では、続いてそのほかでありますか。図書館はいいですか。

いいですか。

「図書館で議員と語ろうホリデー」という、小さなチラシをお配りさせていただいています。

議会の広報公聴委員会の皆さんが、今までよりももっと市民の方と情報交換というか対話をするような機会をつくりたいというようなお話を聞きまして、図書館のほうでこういった小さなワークショップみたいなものをするのですけれども、なるべく議員の皆さんと市民の方が対等な立場で、ざっくばらんに、カジュアルに対話ができるような時間を設けたいなということでやりますので、お知らせをさせていただきました。

教育長

議員さんと語る会が8月4日にあります。

博物館は企画展が始まりましたが、出足はいかがでしょうか。新聞にも載っています。

文化財課長

土曜日はオープンの日ということで、無料開放をさせていただきました。そのときは近年の展覧会で一番入りました。「豊川用水」、「崑山の神髓」も結構入りましたけれども、今回が一番入ったと思います。確か180何人ですので、もうちょっとで200人でした。

やはり図書館にもいろいろ協力していただいた、スタンプラリーが結構よかったみたいで、あと、「怖い」だとか、ちょっと気になるようなキーワードが目についたのかなというふうに分析しています。

それで、教育委員の皆さんの手元には、案内等を置かせていただきましたので、ぜひPRもお願いしたいなと思います。

教育長

ということで、企画展を、来年はもう1週間早く始めてもらい、三遠南信の人たちが寄れるような形でやれるといいなと、私が勝手に思っているんだけど、まあ。

文化財課長

時期って、決まっているのですか。

教育総務課長

7月17日、金曜日です。

教育長

1週間スタートを早めると、ちょっと全員とは言わないけれども、会の間にみなさんにそちらへ行っていただければ。

何か地元の方の展覧会でもいいし、企画展と言わずに準企画展でもいいので、何かちょっと考えてもらえるといいかなということで。

文化財課長

わかりました。

教育長

連動させていくといいかなという。

文化財課長
教育長

ありがとうございます。
では、そのほかの課長さんはよろしいですか。
はい、では。

教育総務課長

次回の8月の定例会の日程、次第のほうに載せさせていただいておりますが、8月21日水曜日の午後から、この会場でということで予定させていただきますので、よろしくお願いします。

以上です。

学校教育課長
教育長

はい、いいですか。

どうぞ。

学校教育課長

後期の学校訪問の予定を閉会後にご相談したいと思いますので、少しお時間を願います。お願いします。

生涯学習課長
教育長

はい、いいですか。

お願いします。

生涯学習課長

生涯学習です。

委員の皆さんもご存じだと思いますけれども、令和4年4月1日から成人の年齢が下がるということで、どこの市町村も今、成人式をどうしようかというようなことでやっております。

今、事務局としても案をつくっております、できましたら今までと同様に20歳で式典を行えたらというふうに考えております。

理由といたしましては、特に令和4年というか5年の成人というふうになると、18歳、19歳、20歳と3年間分が固まってしまうということで、その処理をどうしようというのが1点。それから同じく1月の3連休の中でやるというのが定着しているものですから、そのあたりで変えずにいきたいなというのがあります。これを18歳でやりますと受験であったりとか、そういった部分もすぐに控えているということで、多くの方に出席をしていただけなくなってしまうのではないかなというのがありまして考えております。

また、もう既に発表がありました豊橋市、豊川市も、やはり同様に20歳ということで考えているということで、近隣との歩調を合わせるというのもありまして、そのあたりでというふうに考えております。

名称については、成人の集い、あるいは二十歳の集いというようなことで、ちょっと名称も工夫しながらやっていけたらということで考えております。

教育長

また、委員の皆様方にも何かご意見がございましたら、いただければというふうに思いますので、よろしくお願いします。

今、ありましたように、近隣の大きなところもそのような形ですので、あまり独創性を発揮しないほうがいいかなとも思いながら、そのような形で考えているというふうです。ではまたご意見ありましたらお願いいたします。

そのほか、いかがですか。

では、ありがとうございました。
以上を持ちまして、第7回の定例会を終了させていただきます。お
疲れさまでした。

閉 会 午後 3時30分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員